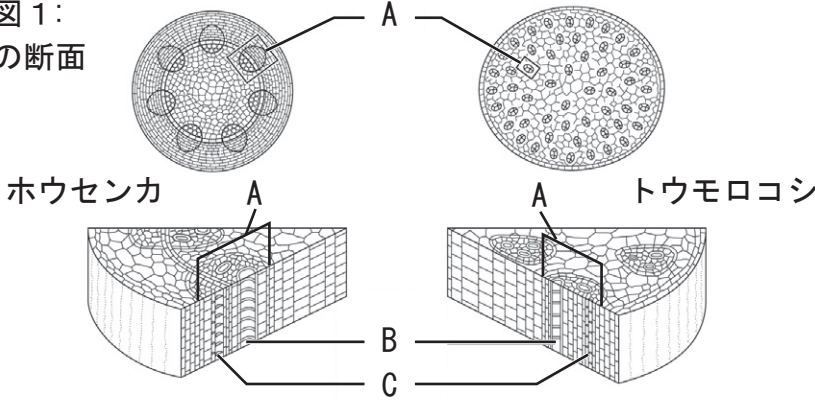


植物の体のつくりと働き(5)

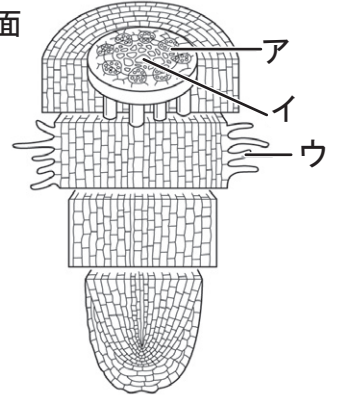
名前

1 下の図は、植物の茎と根を表している。以下の問いに答えなさい。

■図1:
茎の断面



■図2:
根の断面



- (1) 図1のB、Cの管を何というか。また、Bの管の束と、Cの管の束を合わせたAを何というか。
 A () B () C ()
- (2) 図2のA、Iの管を何というか。また、ウの細かい毛のようなものを何というか。
 A () I () U ()

2 次の文章は茎と根のつくりについての説明である。()に当てはまる言葉を書くか、○で囲みなさい。

- (1) 根から吸い上げた水や養分の通り道になる管のことを、(①) という。
- (2) 光合成によって葉で作られたデンプンなどの栄養分は、水にとける物質に変わったあと、(②) を通って、植物の体全体に運ばれ、生命の維持や成長のために使われたり、再びデンプンなどに変化して根や茎、果実や種子などに蓄えられたりする。
- (3) ①の束と②の束を合わせたものを(③) という。
 ③は(単子葉類・双子葉類)の(トウモロコシ・ホウセンカ)では、茎の中に散らばっているが、(単子葉類・双子葉類)の(トウモロコシ・ホウセンカ)では、輪の形に並んでいる。
- (4) 茎は、水分や養分、栄養分などを(作り・通し)、花、果実、葉などをつけ、植物の体を(支える・動かす)働きをしている。
- (5) 双子葉類の根は、(ひげ根である・主根と側根からできている)。また、単子葉類の根は、(ひげ根である・主根と側根からできている)。
- (6) 根の先端近くで見られる細かい毛のようなものを(④) という。
 ④は土の粒の間に入り込み、水や養分を吸収する働きをしている。
- (7) 根は、土の中に広がって植物の体を支え、表面から水や養分を吸収する働きをしている。根が水を取り入れることを(吸水・蒸散) という。